

# 1. 国旗一覧表 (国旗の由来説明あり)

アメリカ									
 <p><b>アメリカ合衆国</b> 左上の旗竿の位置には、州の数と同じ50の星が散りばめられている。旗面は独立した13州に由来する赤と白のストライプ13本で構成されている。一番はじめてできた星条旗から26回も変更を重ねた。</p>	 <p><b>アルゼンチン共和国</b> 真ん中に描かれている「5月の太陽」は、対スペイン戦勝の日の太陽に由来している。共和国の自由の象徴となっている。金色の5月の太陽は、大統領旗にもデザインされている。</p>	 <p><b>アンティグア・バーブーダ</b> 自治政府を立ち上げたときの国旗コンテストで優勝した旗を使用している。黒は国民を表し、青は海、白は砂浜、黄色は太陽を表している。赤は、未来へ向かっていく国民の活力をイメージしてデザインされ、V字は勝利をイメージしている。</p>	 <p><b>ウルグアイ東方共和国</b> 青と白のストライプの部分の青色は自由を、白は平和を表している。カントンの「5月の太陽」は、ウルグアイの独立精神のシンボルである。9本の線になっているのは1930年の独立時の州の数にちなみ、独立を助けたアルゼンチンの国旗の影響を受けたデザインとなっている。</p>	 <p><b>エクアドル共和国</b> 黄・青・赤の配色は、以前コロンビアとベネズエラとともに構成していたグランコロンビアの国旗にちなんでいる。自治体の建築物に掲揚する国旗に州と同数の星が描かれるのは、エクアドル独自の習慣である。</p>	 <p><b>エルサルバドル共和国</b> 青は空と海を表し、白は平和と調和のシンボル。19世紀前半に、この国を含んだ5カ国で構成していた中央アメリカ連邦の国旗がもとになってきた。政府用の国旗の比率は189:335という珍しいものであり、真ん中には国章がデザインされている。</p>	 <p><b>ガイアナ共和国</b> 「黄金の矢尻（金鐘旗）」と呼ばれ、旗章学者ウィットニー・スミス博士が考案した。緑はジャングルと農業を表し、白は河川と水資源、黒は忍耐を表している。黄色は輝く未来と豊かな鉱物資源を、赤は国家建設の熱情のシンボルである。</p>	 <p><b>カナダ</b> 「Flag Debate」と呼ばれる国旗選定をめぐる100年もの大論争の末に制定された。赤と白はカナダの国民色で、真ん中のメイプルリーフは1800年のイギリス皇太子訪問の際からカナダのシンボルとされている。</p>	 <p><b>キューバ共和国</b> 1850年に、キューバの独立運動でナルシソ・ロベスが掲揚した軍旗が由来になっている。3本の青い線は独立したときの3州を表し、2本の白線は独立運動に参加した者の強固な意志を表現している。赤は闘争で流された血で、三角形は自由と平等と博愛の精神を表している。</p>	 <p><b>グアテマラ共和国</b> 中央アメリカ連邦の旗の色にちなんだ国旗で、両端の青は太平洋とカリブ海を表し、中央の白は平和と純潔を表現している。政府用の国旗には、1997年に変更された国章がデザインされている。紋章に描かれた国鳥のケツァールは自由の象徴。</p>
 <p><b>グレナダ</b> ちょっと面白いデザインのこの国旗は、独立時に採用された。7つの星は行政区を表現していて、赤は調和と統一を、黄は太陽と知恵を、緑は豊かな国土と農業のシンボル。左側の緑の上に描かれたものは、特産品のナツメグの実である。</p>	 <p><b>コスタリカ共和国</b> 青は澄みわたる空で永遠を表し、白は平和を、赤は国民の温もりを表している。国章は、3つの火山、太平洋とカリブ海、帆船などがデザインされていて、政府用の国旗には描かれるが、民間で国章が入った国旗を使用することは禁止である。</p>	 <p><b>コロンビア共和国</b> 黄・青・赤の3色で構成され、1930年まで続いたグランコロンビアの国旗から紋章を取り除いてできたもの。上段の黄色は黄金を表し、下段の赤は旧宗主国スペインを表現。中段の青は新大陸と旧宗主国スペインとの間の大西洋を表現しているといわれる。</p>	 <p><b>ジャマイカ</b> はじめに考案された旗は旧タンガニーカの国旗と見分けがつかなくなったので、デザインが変更された。緑は天然資源と希望を表し、黄色は太陽の輝きと豊かさを、黒は国民の苦難と強さと創造性を表現している。黄色のX型は聖アンドリュースの十字架を表したもので、</p>	 <p><b>スリナム共和国</b> 緑はジャングルと平野を表し、白は正義と自由を、赤は進歩と繁栄を表している。黄色い星は民族の団結と輝ける未来のシンボルである。独立する前は白地に5色の星をあしらって、星々を楕円形の黒線で結んだ旗が採用されていた。</p>	 <p><b>セントクリストファー・ネーヴィス</b> 緑は農業と豊かな国土を表し、黄色は太陽の光を、黒はアフリカ系の黒人を、赤は独立闘争を表現している。星は自由と希望のシンボルで、2つあるのは、セントクリストファー島（セントキッツ島）とネービス島を表現したもので、</p>	 <p><b>セントビンセント・グレナディーン諸島</b> 青は空と海を表し、黄色は熱帯の太陽の光と美しい海岸を、緑は植物の豊かさや国民の活力を表現している。中央の菱形を組み合わせたV字形でこの国の頭文字を表す。独立のときに旗の中心部を広げて、紋章を菱形に変更した。</p>	 <p><b>セントルシア</b> 三角形はセントルシア島を表し、青地は大西洋とカリブ海を、黒と白は黒人と白人の団結を、黄色は太陽の光と国土を表現している。黒のくさび形は活火山ピトンのシンボルである。</p>	 <p><b>チリ共和国</b> 星条旗の影響を受けているが、青・赤・白の3色はチリの先住民が古来から使用してきた色である。青は澄んだ空と海、白はアンデスの雪、赤は独立闘争で流された尊い血を表現している。</p>	 <p><b>ドミニカ共和国</b> ハイチから独立したのと同国の赤・青の2色を採用して作られた。現在は2色が交互に配置されているが、独立した直後は白十字の上が青で下が赤だった。政府用の旗には月桂樹・ヤシ・聖書・十字架などが描かれた国章がついている。</p>
 <p><b>ドミニカ国</b> 真ん中の鳥は、国鳥のミカドボウシインコというオウムである。緑の星10個は、10の行政区を表し、緑色は森林と国土の活力を、赤い丸は社会主義であることを表現。黄・黒・白はそれぞれの肌色の人種を意味している。紋章学上の理由から国章が幾度も変更されている。</p>	 <p><b>トリニダード・トバゴ共和国</b> 赤は火と未来、黒は土と過去を、白は土と現在を表しているといわれる。2本の白線はトリニダード島とトバゴ島を表し、全国民の平等のシンボルともなっている。独立前はイギリスの植民地だったので、市民用の海上国旗の比率は1:2の横長である。</p>	 <p><b>ニカラグア共和国</b> 旧中央アメリカ連邦旗を継承していて、真ん中に国章を記した。国章の中の5つの火山は、以前連邦を構成していた中米5カ国を表現。周辺の文字は、上側が国名(REPUBLICA DE NICARAGUA)で、下側が中央アメリカ(AMERICA CENTRAL)である。</p>	 <p><b>ハイチ共和国</b> フランスからの独立時は、青・赤・白の3色旗から白を除いた横2色の旗だった。青は黒人を表し、赤は黒人と先住民の混血であるムラートの象徴である。政府用の国旗には、1986年に変更を加えた国章が記される。紋章にはヤシの木・自由の帽子・弾丸・旗・大砲などが描かれている。</p>	 <p><b>パナマ共和国</b> コロンビアから分離独立する際にアメリカの後押しがあったので、星条旗の影響を強く受けている。赤は民主主義を表し、青は保守党を表現。白は両政党の和解と平和を表し、2つの星は国民の団結の象徴である。</p>	 <p><b>バハマ国</b> 上下の2本の青ラインは、バハマ周辺の美しい大西洋とカリブ海を表現。中段の黄色のラインはこの国の島々と砂浜を表し、左側の黒い三角形は国民の強い団結の象徴である。独立する前は英国船舶旗の上にバッジを記した旗を使用。</p>	 <p><b>パラグアイ共和国</b> 表裏で紋章が違うただ1つの国旗。表は国章で、裏は国庫のマークである。国庫のマークには、自由の帽子（フリジア帽）と呼ばれる奴隷から自由への解放のシンボルとライオンがデザインされている。</p>	 <p><b>バルバドス</b> 独立時に実施されたコンテストで優勝した美術家のグラント・リ・ブレスコットの図案を採用。青はカリブ海と太平洋と空を表し、黄色は砂浜と富を表現。真ん中のマークは海神ポセイドンの三叉の矛である。</p>	 <p><b>ブラジル連邦共和国</b> 青い円は天体を表し、リオデジャネイロの空を1889年11月15日の朝に地球の外から見た形を表現している。27の星は連邦構成の象徴である。緑は森林、黄は鉱物資源を表現。</p>	 <p><b>ベネズエラ・ボリバル共和国</b> 1811年以降は黄・青・赤の3色旗を使用していて、2006年に星の数が1つ増加。増やした星は解放者のシモン・ボリバルに由来するもので、チャベス大統領のボリバル革命のシンボルともなっている。国章には盾・熱帯果実・サーベル・白馬・表の東・月桂樹・ヤシなどが描かれている。</p>
 <p><b>ベリーズ</b> 青は独立運動を推した人民統一党の旗の色が、赤は統一民主主義の旗の色がもとになっている。真ん中の国章は植民地時代のデザインをちょっと手直したもので、独立時に採用された。円内の50の葉は自治権獲得運動を起こした1950年を記念してデザインされた。</p>	 <p><b>ペルー共和国</b> 1820年に解放者のホセ・デ・サンマルティン将軍が軍帽、翼が赤くて胸が白いフラミンゴに由来している。政府用の国旗は国章つきで、リャマやキナ、ワニが描かれている。</p>	 <p><b>ボリビア多民族国</b> 独立時は緑・赤・黄・緑だったが、1826年に赤・黄・緑の3色旗に変えた。赤は兵士の武勇と独立闘争で流された血を表し、黄は豊かな鉱物資源を、緑は森林と肥沃な国土を表現している。</p>	 <p><b>ホンジュラス共和国</b> かつての中央アメリカ連邦旗を継承していて、1866年に真ん中に5つの星を加えた。青は太平洋とカリブ海を表し、白は平和を表現。5つの星は連邦を構成していた5ヶ国の象徴である。</p>	 <p><b>メキシコ合衆国</b> かつての商船旗は国章つきではなかったの、イタリア国旗と見分けがつかなくなった。メキシコオリンピック以降につけられた国章は、ワジがへびをくわえてサポテンにとまっているデザインで、これは建国の伝説に由来している。</p>					